

岩舟我が事・丸ごと事業 ～栃木市地域力強化推進事業～

岩舟に住んでよかった！



栃木市社協マスコットキャラクター
ふっくん ぴーちゃん

令和2年2月8日(土)

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会岩舟支所

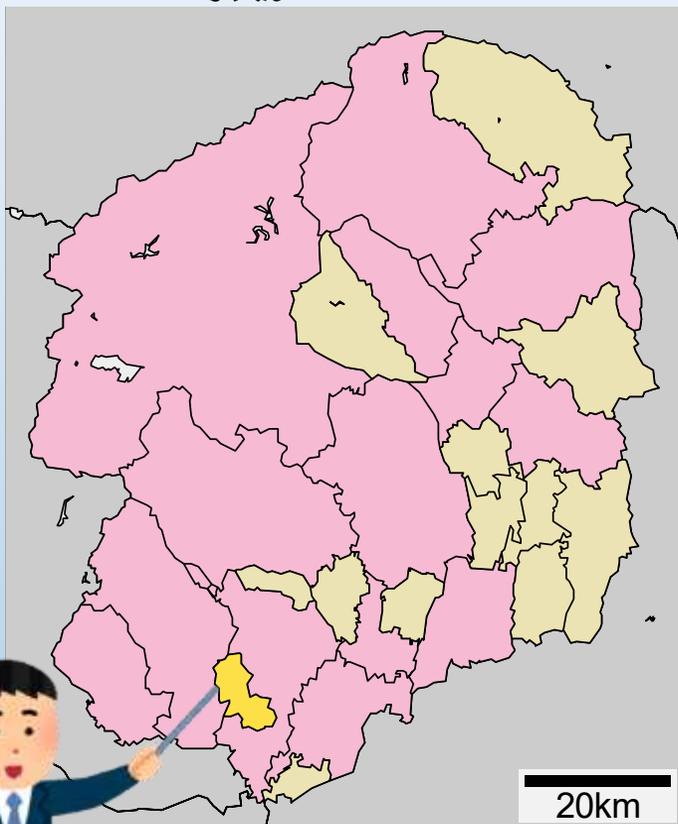


ふっくん

～栃木市岩舟町①～



ぴーちゃん



平成26年に栃木市に
合併し、栃木市岩舟町
となりました。



岩船山

～まちのシンボル～

標高170mほどの「岩船山」は、江戸時代から「岩舟石」の砕石場として栄え、岩舟町の経済基盤を支えてきました。山頂には日本三大地蔵のひとつに挙げられる「岩船山高勝寺」もあり、毎年春・秋のお彼岸の時期には多くの参拝者が訪れる山でもあります。

岩船山クリフステージ

～野外音楽イベント～

採石場跡地は、切り立った岩場が目の前に立ちはだかる景観のせいか、映画やテレビの撮影現場として今なお頻りに利用されています。この崖の音響効果を利用して、野外コンサートを開催しています。

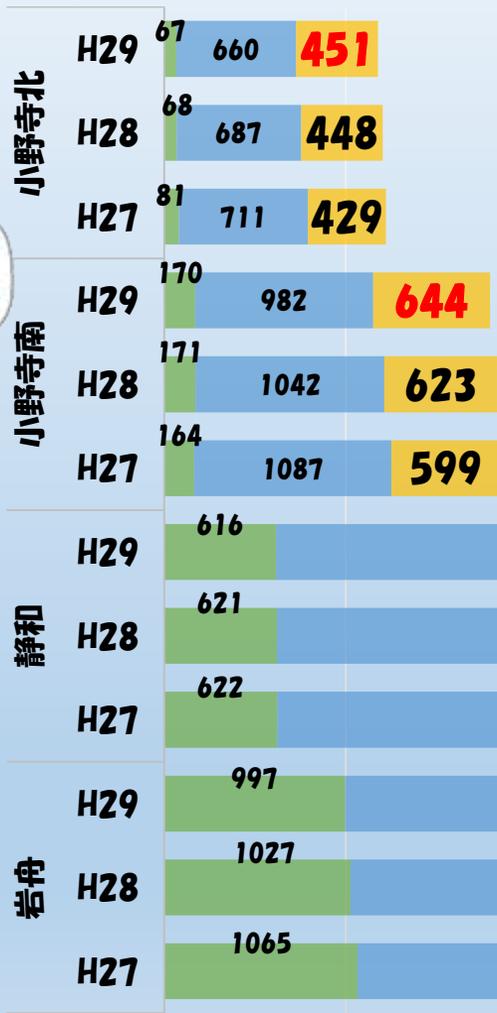


ふっくん

～栃木市岩舟町②～

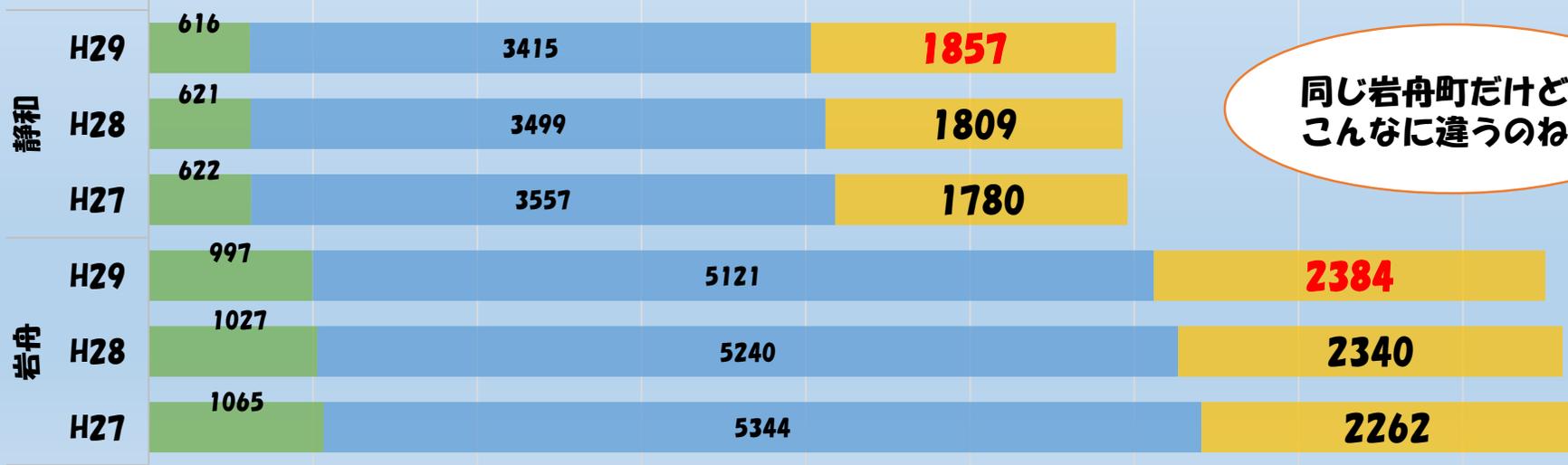


ぴーちゃん



	人口 (人)	高齢化率 (%)	14歳以下 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)
全体	17,364	30.7	1,850	10,178	5,336
岩舟	8,502	28	997	5,121	2,384
静和	5,888	31.5	616	3,415	1,857
小野寺南	1,796	35.6	170	982	644
小野寺北	1,178	38.3	67	660	451

※平成29年度示一タ



同じ岩舟町だけど、こんなに違うのね。



0 1000 2000 3000 4000 5000 6000 7000 8000 9000

■ 14歳以下 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



ふっくん

まず、はじめに



びーちゃん

肩車社会



少子高齢化



国では、「**地域共生社会**」の実現に向けて取り組む方針が出されています。

～地域共生社会～

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『**我が事**』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『**丸ごと**』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会（平成29年2月7日厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定より抜粋）

一人暮らし



ライフスタイルの多様化



社会状況の変化
(地縁の薄れ、近隣関係の難しさ)



栃木市地域力強化推進事業

～岩舟我が事・丸ごと事業～



栃木市は、子ども・高齢者・障がい者、あなたも私もみんなで、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる**地域共生社会**の実現を目標に取り組んでいきます。

～我が事～

地域住民の主体的な課題解決力の強化

～丸ごと～

住民活動の支援と住民が発見した課題を専門職が協働して解決していくこと

栃木市社会福祉協議会

日常生活における「困りごと」や「心配ごと」に対し、行政や関係機関・地域住民とともに協力して取り組んでいくいわゆる「地域福祉」を推進する公共性を持った民間団体。



地域の皆さん

この岩舟町を暮らしやすく住みよいまちにするためには、地域の皆さんで支え合うことが必要です。



ふっくん

これまで



びーちゃん

岩舟我が事・丸ごと事業協議体について①

様々な団体の代表(52団体)に、住んでいる場所で分かれていただき、小学校区域の地域協議体を進めています。



岩舟地区社会福祉協議会、小地域社協、民生委員児童委員、岩舟地域会議、自治会連合会、まちづくり実働組織、警察署、消防署、消防団、保護司会、更生保護女性会、医師会、社会福祉法人、町内医療法人、シニアクラブ(老人会)、身体障害者福祉会、ボランティア団体、商工会青年部、岩舟地域青少年育成会議、岩舟しぐさ実行委員会、岩舟町ifの会、子ども会育成会連絡協議会、家庭教育オピニオンリーダー、食生活改善推進員協議会、母子保健推進員協議会、シルバー大学南校OB、地区体育協会、いわふねスポーツクラブ、市教育委員、校長会、市社会教育委員、中学校PTA、小学校PTA、はつらつセンター、ますます元気サポーター、岩舟地域包括支援センター、栃木市



警察・消防
消防団



民生委員



シニアクラブ



医療機関 ケアマネジャー



学校・社会教育関係



PTA



施設・事業所



弁護士
司法書士



ふっくん

岩舟地区における「我が事・丸ごと」の地域づくり～1～



ぴーちゃん

岩舟我が事・丸ごと事業協議体

栃木市社会福祉協議会岩舟支所では、「住民が主体的に地域課題を把握し、解決できるように協議する場」を支援しています。



小野寺北地域協議体
(第3層)

岩舟地域協議体
(第3層)

岩舟我が事・丸ごと事業協議体(第2層)
岩舟町全域で話合った方がいいことは第2層で協議する。

小野寺南地域協議体
(第3層)

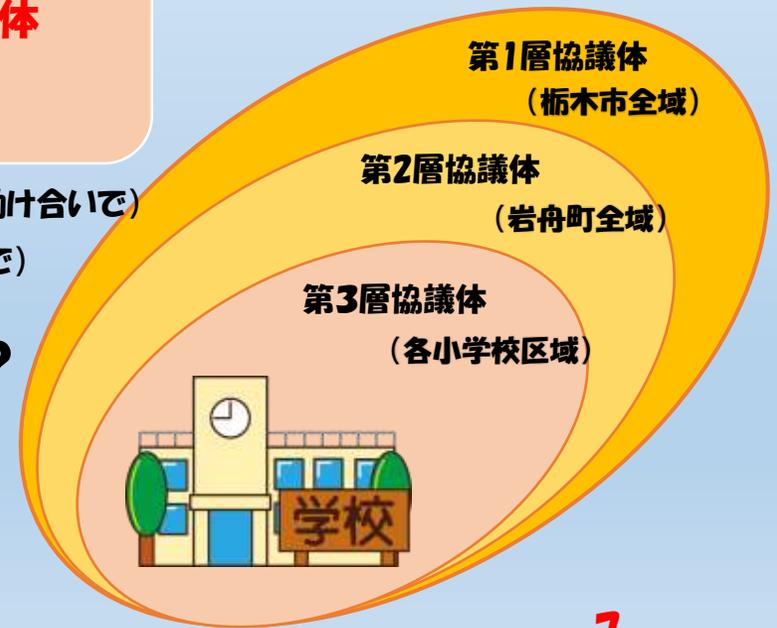
静和地域協議体
(第3層)



自助(自分でできることは自分で)

互助(家族や地域、お互いの助け合いで)

共助(介護保険のように助け合いを制度化) 公助(全体で必要なものは公で)

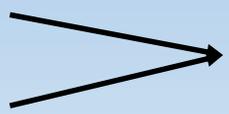


例 子供たちの通学路が暗くて危ない。何かできることは？

公助 防犯灯を設置

自助

互助



ここを協議体で話し合う。



これまで



岩舟我が事・丸ごと事業協議体について②

さらに、協議体メンバーが協力してくれそうな方に直接依頼することで、メンバーを増やしています。



ボランティア



「つながり」が
「つながり」を生む



家族



各種団体



企業・事業所



お店・商店



地域の相談所
くらしサポーター



自治会・近隣

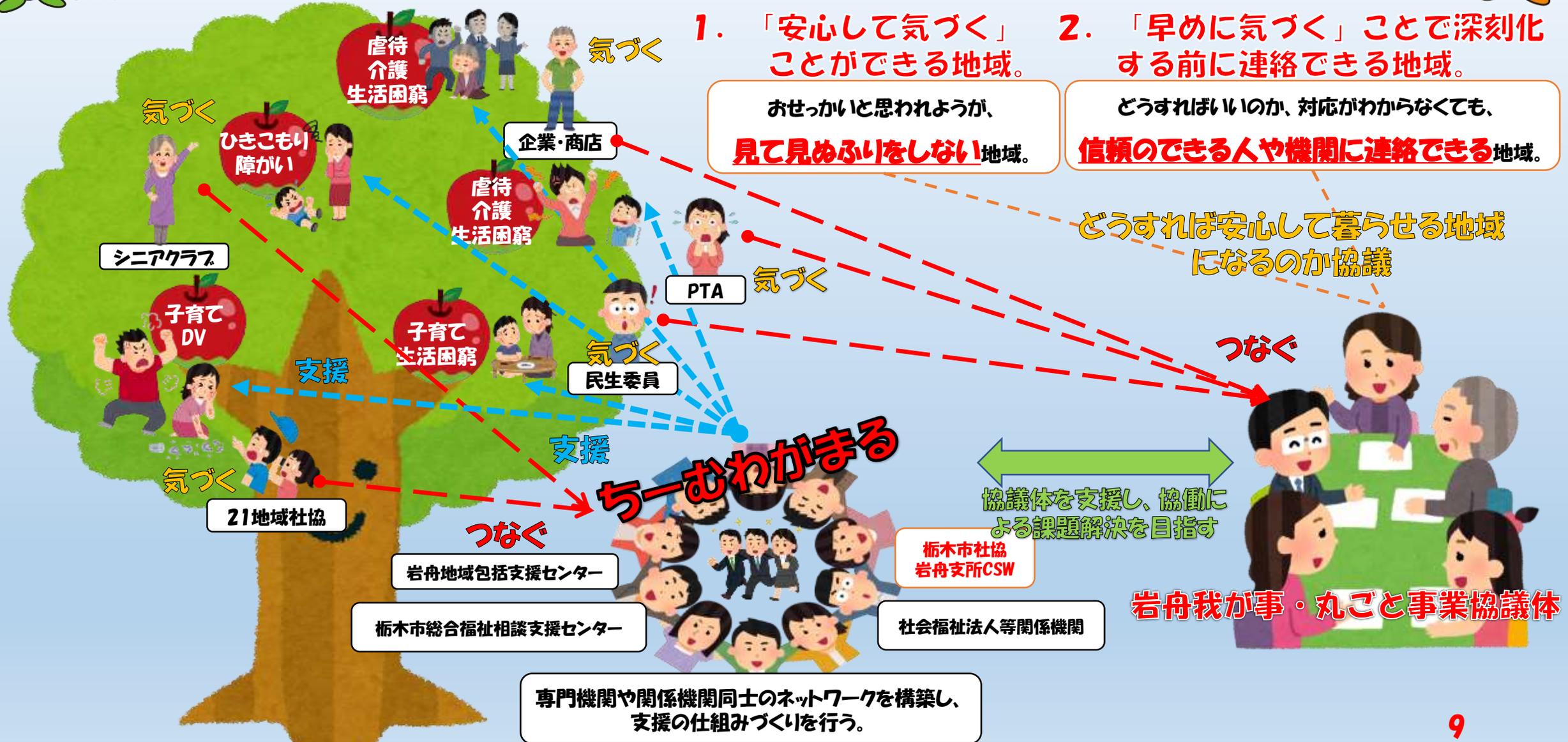


友人・知人



岩舟地区における「我が事・丸ごと」の地域づくり～その2～

「他人事でも我が事」として「丸ごと」受け止め、気づき、つなげる地域へ



我が事・丸ごと地域協議体の取組み

～小学校区域の協議体～



～静和地域～

- ①見守り活動の推進 こども・高齢者
- ②生活支援活動の推進 ゴミ出し・買い物支援
- ③集い・相談の場づくり なんでも相談できる場所



防犯パトロールや地域の清掃活動
～静和2地区まちづくり協議会～



通学路の再点検
～子ども110番プレートや見守りをしている方の再確認～



相談の場や自由に使える居場所！
～特別養護老人ホーム清松園～

我が事・丸ごと地域協議体の取組み

～小学校区域の協議体～



～小野寺南地域～

① 自治公民館を開放しての世代間交流事業

～小野寺南まちづくり協議会～

身近な課題を自主的に解決し、また地域の個性を活かした様々な事業を展開して地域の絆を深め、毎日楽しく元気に暮らせるまちづくりを推進する。

栃木市社協

つなぐ



～小野寺南地域協議体～

住民が主体的に地域課題を把握し、解決できるように協議する場。



地域の自治公民館で、世代間交流事業を実施することができました！

我が事・丸ごと地域協議体の取組み

～小学校区域の協議体～



～はつらつセンターとは～
地域住民が健康で元気に生活していただくため、高齢者の集まりに対して、運営経費の一部を助成する栃木市の事業。

～小野寺北地域～

- ①小野寺北全地域に「はつらつセンター」を設置すること。
- ②「みすぎの郷」を拠点に地域づくりに取り組むこと。

～みすぎの郷～

社会福祉法人すぎのこ会が運営する
地域密着型特別養護老人ホーム。

栃木市社協

つなぐ

～小野寺北地域協議体～

住民が主体的に地域課題を把握し、解決できるように協議する場。



みすぎの郷での会議の様子



「はつらつセンター」が立ち上がりました！



我が事・丸ごと岩舟地域協議体の取組み

～小学校区域の協議体～



～すみよいまちづくりの会いわふね～

身近な課題を自主的に解決し、また地域の個性を活かした様々な事業を展開して地域の絆を深め、毎日を楽しく元気に暮らせるまちづくりを推進する。

栃木市杜協

つなぐ



～岩舟地域協議体～

住民が主体的に地域課題を把握し、解決できるように協議する場。



すみよいまちづくりの会いわふね

「コスモス復活プロジェクト」のお手伝い

その他、岩舟町更生保護女性会のチューリップ植えに参加など



ぶっくん



びーちゃん

「他人事でも我が事」として「丸ごと」受け止め、気づき、つなげる地域へ

伴走型社協を目指して～皆さんの暮らしとともに～

栃木市社会福祉協議会岩舟支所は、一人ひとりの思いに寄り添い支援する**伴走型社協**として、地域において「課題を抱えた人」も「支える側の担い手」になるような役割を担い、また生活の張りや生きがいを見出すことが出来るような集まりの場を設置する手助けを行っていきます。

支える人

他人事も我が事として

受ける人

例えば、見守り



支援

支援



～コミュニティサロン～

- ・誰でも参加できる。
- ・つながりが生まれる。
- ・ボランティアや団体の活動の場になる。
- ・栃木市社協岩舟支所CSWに相談もできる。

栃木市社会福祉協議会岩舟支所 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

支援が必要な方(高齢者や障がい者、子育て中の親など)に対して、見守りや課題の発見、相談援助、そして必要なサービスの専門機関へのつなぎをするなど、その方に合った課題を解決するための支援をしています。

～親子ふれあいサロン～

- ・子育てをしている親の悩みや不安を共有する場になります。
- ・子育て世代に横のつながりが生まれます。
- ・サークル活動へ発展します。



ぶいっくん

ご清聴

ありがとうございました



ぴーちゃん



このあとは、
若田部 詔夫さん（岩舟地域協議体）
木澤 貴さん（小野寺北地域協議体）
の発表になります。
よろしくお願ひします。



ぶっくん



ぴーちゃん

我が事・丸ごと岩舟地域協議体の取組み ～小学校区域の協議体～



～岩舟地域～

- ① 小学校登下校安全安心の環境づくり
- ② 世代間交流事業の取組み
- ③ 回覧板を手渡ししながらのコミュニケーションづくり

①～③を決めるまで

- ・平成30年3月から、月1回の定例会を開催(現在も継続)
- ・地域懇談会の開催・・・4回(延べ人数130人)
- ・懇談会内容: 地元の誇り(自慢)、問題、現在の活動について、明日からの活動

我が事・丸ごと岩舟地域協議体の取組み ～小学校区域の協議体～

～岩舟地域～

①小学校登下校安全安心の環境づくり

地域の子どもたちは、**地域**で守る！



我が事・丸ごと岩舟地域協議体の取組み

～小学校区域の協議体～

きっかけ

今市事件



我が事・丸ごと岩舟地域協議体
若田部 詔夫

～今市事件とは～

平成17年12月、今市市（現日光市）で吉田有希ちゃん（当時7歳）が下校途中に三差路で同級生と別れた後、行方不明になり、その2日後の午後2時ごろ、約60キロ離れた茨城県常陸大宮市の山林で遺体で見つかった事件。

我が事・丸ごと岩舟地域協議体の取組み ～小学校登下校の環境づくり～



1. 通学路の再確認。
2. 現在の「子ども家110番の家」協力者の家の確認。
→地図で確認し、印を付ける。

- フレートの更新
- 今後も協力してもらえるか
- 空き家かどうか
- 日中対応できるのか
- 高齢者のみで対応が難しいかの確認

子ども110番の家協力者向け
アンケート調査を実施。



フレートの更新
～学校の協力で確保～



子ども110番の家

栃木地区防犯協会
栃木警察署

教育委員会

対応マニュアル

～なるべく簡単にしたもの～

「子ども110番の家」対応マニュアル

～対応手順～

まず自分が落ち着き、子どもから話を聞きましょう。

①名前 ②学年 ③状況



警察 110 番 救急 119 番 通報



栃木市立岩舟小学校に連絡する

☎0282-55-2130



発行元 我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体

～我が事・丸ごとの地域づくり～

（栃木市社会福祉協議会岩舟支所 電話：55-2438）



調査票

～メンバーが聞き取る～ 年 月 日

調査員名 _____

「子ども110番の家」アンケート票

自治会名 [_____] 氏名 [_____]

住 所 [_____] 連絡先 [_____]

No.	項目内容	回 答	対 応
1	フレートの更新	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 必要なし	必要な場合 <input type="checkbox"/> 交換した <input type="checkbox"/> 交換しなかった 理由 (_____)
2	日中、自宅にいるかどうか	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	自宅にいない場合 <input type="checkbox"/> 仕事で外出してしまう <input type="checkbox"/> その他理由 (_____)
3	子ども110番の家に関して不安または困っていること	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	不安または困っている内容を記入 (_____)
4	実際に子どもが来たことがあるか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	来たことがある場合にチェック <input type="checkbox"/> トイレを貸した <input type="checkbox"/> その他記入 (_____)
5	日常生活で手伝ってもらうと便利または助かること	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	ある場合にチェック <input type="checkbox"/> 近所でお茶会など <input type="checkbox"/> 買い物 <input type="checkbox"/> ゴミ出しのお手伝い <input type="checkbox"/> 簡単な掃除や片付け <input type="checkbox"/> 家具の移動 <input type="checkbox"/> 草刈り <input type="checkbox"/> 病院などの付き添い <input type="checkbox"/> その他 (_____)

その他

調査訪問で地域内を周回しているときに、気付いたことについて記入してください。

例『横断歩道のペイントがうすくなっている場所』があれば教えてください

自由記入：

場 所：



【問合せ先】

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
岩舟支所（遊楽々館内）電話：55-2438

ポケットティッシュ

岩舟に住んでよかった！

～我が事・丸ごとの地域づくり～

最後にそう思えるように、岩舟町全域で、支え合う仕組みについて話し合いを進めています！

1. 安心して気づける地域。

→おせっかいと思われようが見て見ぬふいをしない。

2. 早めに気づける地域

→わからなくても信頼のある人や機関に連絡する。



～困ったときはご相談ください～

栃木市社協岩舟支所 ☎0282-55-2438

子ども110番の家協力者向けアンケート 準備会（10/8）の様子



現在の協力者へのアンケート依頼

令和元年 11月25日

《子ども110番の家》協力者 各位

栃木市立岩舟小学校 校長 熊倉 正巳
岩舟小学校PTA 会長 堀江 修
我が事・丸ごと事業 岩舟地域協議体

《子ども110番の家》アンケートへのご協力について

《子ども110番の家》につきまして、いつも格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
少子高齢化社会のなかでさまざまな問題を抱えながら生活している今、子どもたちにとって、本当に安全安心な住みよい地域になっているかと心配している人も多いかと思えます。

今年5月に発生した「川崎市の児童殺傷事件」では、子どもが犠牲になった痛ましい出来事がありました。

そこで今回《子ども110番の家》にご協力いただいている皆様を訪問し、お話を伺わせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

《子ども110番の家》にご協力の皆様へ

～通学路は危険がいっぱい!!～



「子ども110番の家」アンケート内容
◇「子ども110番の家」プレートの確認
◇「子ども110番の家」の対応について
◇「ご意見・ご要望」について



地域住民が主体となって、学校、PTAと協力して子どもの安全を守りましょう!

元気にあそびのびできる
やさしい子どもを
育てよう!



【問合せ先】
社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
岩舟支所（遊楽々館内）電話：55-2438

信頼性確保のため、 関係機関に承認をもらい、 周知する。

- ・ 小学校PTA代表
- ・ 小学校校長



民生委員



自治会・近隣





自治会・近隣

自治会長への周知

事業～栃木市地域力強化推進事業～

令和元年 11月21日

自治会長 各位

我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体
リーダー 若田部 詔夫 印略

「子ども 110 番の家」の協力者向けアンケートについて（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の運営並びに事業につきましては、常日様より多大のご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、栃木市社会福祉協議会岩舟支所が進めている「岩舟我が事・丸ごと事業」で地域における支え合い活動について、52 団体に協議を重ねているところでございます。

そうした中、岩舟小学校区におきましては、3 つの取り組みを進めることとなりました。その中のひとつである「小学校登下校の環境づくり」について、下記のとおり実施することになりましたので、下記のとおりご協力をお願いします。

記

1 事業内容

我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体のメンバーが「子ども 110 番の家」の協力者を訪問し、現在の「子ども 110 番の家」のプレートの状況やご意見、ご要望を聞くことで、今後の見守りや住みやすい地域づくりに役立てる。

※裏面に岩舟地域協議体で進めている内容を載せています。

2 時期

12月ごろから

3 依頼内容

問い合わせがあった場合は、栃木市社協岩舟支所事務所までご案内ください。

【問合せ先】

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
岩舟支所（遊楽々館内）

電話：55-2438 FAX：55-5590

～明るい笑顔の応援団！～

我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体で進めている内容

小学校登下校の環境づくり

・子どもの安全安心な地域づくり

- ・子どもが助けを求めてきたら、安心して家の中に保護できる「子どもの家110番」の充実。
- ・「子どもの家110番」プレートの更新、「子どもの家110番」に協力できる人に要請、見守りスタッフの増員。

- ・見守り活動で子どもを不審者から守る。
- ・日常生活のなかで、近所に子どもたちが、被害に遭いそうな危険な場所を見つける。



学校、PTA、地域住民
で子どもの安全を守る。



元気にあそびだせる楽しい子どもを育てる
見守り活動を広げ、子どもの住み
やすい地域づくりを目指します



4

世代間交流事業の取り組み

- ・世代間交流で住みやすい地域づくり
- ・高齢者つみ（地域の運営）
- ・エコーアワーセッション実施（100-110年）



子どもと高齢者の交流を積極的に行なう
→ 元気にあそびだせる楽しい子どもを育てる
→ 高齢者も地域活動に参加



高齢者の悩み、困りごとを
聞いてあげよう



5

回覧板を手渡しながらのコミュニケーション

- ・安全安心な住みやすい地域づくり
日常生活で支え合いが必要だが、孤独な暮らし、社会参加の機会、社会、民生委員などにつなぐ仕組みづくり
- ・日常的に生活の状況を見守る活動
市内全域にわたる見守り、見守り活動を実施



家の中の整理、電報交換
自治会活動、買い物、掃除・洗濯・家事、ゴミ出し、散歩・外出、通院、入浴など



安心して
暮らしませんか

・コミュニケーションを増やすことで地域の集まり
に誘われる機会をつくる
→ 集まりに参加する
→ 生活の困りごとを互いに相談しあえる
→ 人が集まることにより生活の困りごとを解決できる
→ 高齢者も地域で活躍できる

・目指していること
日常生活で支え合いが必要な高齢者の生活の困りごとを解決し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

7



民生委員

民生委員への協力依頼

～本市地域力強化推進事業～

我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体で進めている内容

令和元年9月11日

民生委員児童委員 各位

我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体

「子ども110番の家」の協力者向けアンケートについて（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の運営並びに事業につきましても、常日頃より多大のご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、栃木市社会福祉協議会岩舟支所が進めている「岩舟我が事・丸ごと事業」で地域における支え合い活動について、52 団体が協議を重ねているところでございます。

さて、ご存知のとおり岩舟小学校区では、3つの取り組みを進めることとなりました。その中のひとつである「小学校登下校の環境づくり」について、下記のとおり実施することになりましたので、ご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 事業内容

我が事・丸ごと事業岩舟地域協議体のメンバーが「子どもの家110番」の協力者宅を訪問し、現在の110番の家のプレート状況やご意見、ご要望を聞くことで今後の見守りや住みやすい地域づくりに役立てる。

2 時期

11月ごろから

3 依頼内容

- ・問い合わせへの対応、案内。
- ・協議体メンバーが地域を回る際の協力。

【問合せ先】

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
岩舟支所（遊楽々館内）

電話：55-2438 FAX：55-5590

～明るい笑顔の応援団！～

小学校登下校の環境づくり

・子どもの安全安心な地域づくり

- ・子どもが助けを求めてきたら、安心して家の中に保護できる「子どもの家110番」の充実。
- ・「子どもの家110番」プレートの更新、「子どもの家110番」に協力できる人に要請、見守りスタッフの増員。

- ・見守り活動で子どもを不審者から守る。
- ・日常生活のなかで、近所に子どもたちが、被害に遭いそうな危険な場所を見つける。

子どもの家110番



学校、PTA、地域住民で子どもの安全を守る。



・元気にあいさつできる楽しい子どもを育てる

見守り活動を広げ、子どもの住みやすい地域づくりを目指します

4

世代間交流事業の取り組み

- ・世代間交流で住みやすい地域づくり
- ・職場まつり（地域の産物）
- ・エコーアワーセッション大会（100-100年展）



子どもと高齢者の交流を積極的に推進

- ・元気にあいさつできる子どもを育てる
- ・お年寄りも参加活動に楽し



子どもが地域を元気にする



5

回覧板を手渡しながらのコミュニケーション

- ・安全安心な住みやすい地域づくり
- ・日常的に生活の状況を見守る活動

日常生活で支え合いが必要が110番、見守りネットワーク、福祉、民生委員などにつなぐ仕組みづくり

安心して暮らせる

家の中の整理、電報交換、自治会活動、買い物、掃除・洗濯・家事、ゴミ出し、散歩・外出、通院、入浴など

- ・コミュニケーションを増やすことで地域の集まりに弾みをつける
- ・集まりにつなぐ
- ・この集まり・集まりで「見守り、どう見守るか」
- ・人が集まることにより110番の役割を担うことにつながる
- （110番を要請する見守りに参加）

人と人とのコミュニケーションを大切に

見守りのネットワークを築き、住みやすい地域づくりを目指します。

7

～子ども110番の家協力者アンケート結果報告①～

	内 容	件 数	割 合	備 考
1	なんらかの変更あり	26	18.4%	世帯主、氏名、連絡先 などの変更
2	中止、廃止	11	7.8%	高齢のためできないなど、 空き家
3	新規	2	—	ただ減らすのではなく協力 してくれるところを探す

～子ども110番の家協力者アンケート結果報告②～

	アンケート項目	件数	割合	具体的な内容
1	子ども110番の家のプレート交換	110	78%	交換したかどうか、事前に若田部さんによるプレート交換が行われているがその分は入っていない。
2	日中、自宅にいるかどうか	113	80%	いないという回答があるが、買い物、畑仕事などが多いため問題ない。
3	子ども110番の家について不安や困っていること	5	4%	他の方をお願いしたい。対応方法がわからない。
4	子どもが来たことがあるかどうか	38	27%	トイレ、水を飲みたい、傘や電話を貸してほしい、蛇がいたから。
5	手伝ってほしいこと、助かること	5	4%	お茶のみサロン、草刈り、ゴミ出し、自治会活動を代わりにやってほしい、自宅にいる高齢の家族が心配。

～アンケートの結果を受けて～

地域協議体で話し合いました

- ①子ども110番の家協力者はなるべく減らさない。
- ②新しい家を見つける。
- ③5年単位でアンケート調査を続ける。
- ④子ども110番の家は、通学以外でも必要（休日や塾など）なため、継続してもらう。
- ⑤今後は、認知症も増えるため、認知症110番の家のように拡大していくことも必要。



私たちにできることは？

～見守りを増やすこと～

- ① 登下校の時間を共有して、少しでも見守りが出来る人を増やす。
- ② “ながら” 見守りを増やすこと。



ボランティア

～これからの計画～

- ① 小学校から、現在見守りを依頼している団体や個人の情報をもろう。
- ② 協議体メンバーで見守りをお願いする団体について協議を行い、候補を決める。
(案) シニアクラブ、自治会、PTA、交通安全協会 など
- ③ 小学校と合同で説明会のようなものを行い、団体に依頼することで、見守りを増やす。
- ④ あいさつ運動の強化も学校へ要望していく (あいさつされると見守りをする人も増える)



最後に

地域の子どもたちは、
地域で守る！

ご清聴ありがとうございました。



我が事・丸ごと岩舟地域協議体
若田部詔夫